

Windows 版 Perforce Helix Core 2017.2
Windows 版 Perforce Helix GUI クライアント 2017.3
英語版インストーラの実行手順

1. はじめに

本書では、64bit Windows 7 での実行例を用いて、以下を説明します。

- (1) [Windows 版 Perforce Helix Core 2017.2 \(以下、Helix Core\) の英語版インストーラの実行手順](#)
- (2) [Windows 版 Perforce Helix GUI クライアント 2017.3 \(以下、Helix GUI クライアント\) の英語版インストーラの実行手順](#)

なお、Helix とは、Perforce Software 社が提供する構成管理関連のツール全体に対するブランド名です。Helix Core は、従来の Perforce サーバに相当します。Helix GUI クライアントは、従来の Perforce GUI クライアントに相当します。

注意: このインストーラは、Helix Core を、Windows サービスで自動的に起動するように設定します。この設定を行うため、このインストーラを実行するのは Windows の管理者権限を持つユーザでなければなりません。

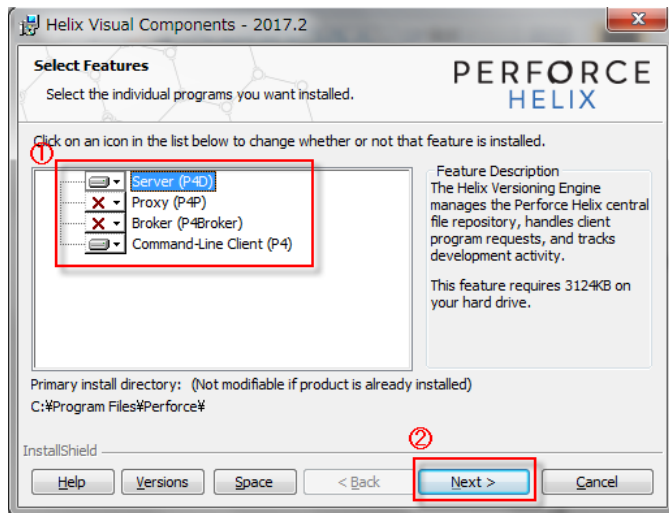
注意: Helix Core のメタデータ(変更のコメント、ファイルパス、ラベル名等)に日本語を用いる場合、Helix Core を Unicode モードで起動する必要があります。
インストーラを実行後、2.8 に示す操作を必ず実施してください。

注意: 現在使用中の Helix Core 環境がある場合、本書に示す操作を実行する前に必ず、現状の Helix データベースのチェックポイントを作成し、Helix Core 環境をバックアップしてください。

2. Helix Core のインストーラ実行手順

2.1 Select Features 画面

インストーラ `helix-versioning-engine-x64.exe` (32bit Windows の場合は `helix-versioning-engine-x86.exe`)を実行すると、Select Features 画面が表示されます。



- ① インストールする機能を選択します。
- ② Next ボタンをクリックします。

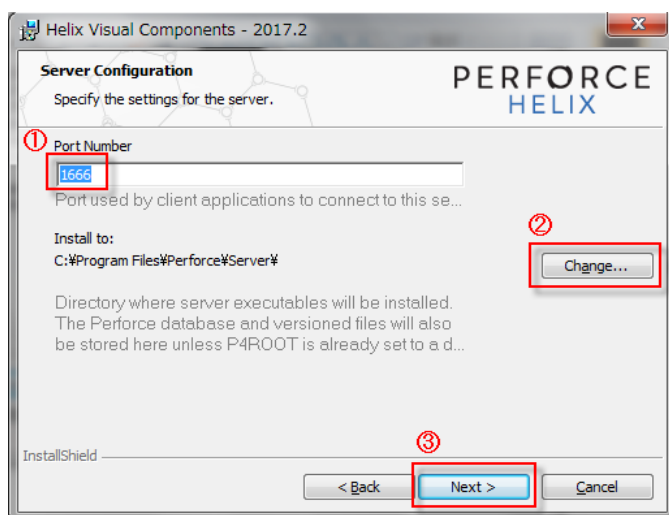
Helix Proxy (P4P) および Helix Broker (P4Broker) は、一般的に Helix Core とは別のホストにインストールするため、本書における説明には含めません。Helix Proxy および Helix Broker をインストールに関しては、次のドキュメントをご覧ください。不明な点があればご遠慮なく弊社テクニカルサポート (ss_support@toyo.co.jp) にお問い合わせください。

Helix Proxy : 「Perforce プロキシ」
<http://www.toyo.co.jp/ss/perforce/manuals/p4dist/index.html>

Helix Broker : 「Perforce ブローカ」
<http://www.toyo.co.jp/ss/perforce/manuals/p4dist/index.html>

2.2 Server Configuration 画面

Server Configuration 画面が表示されます。



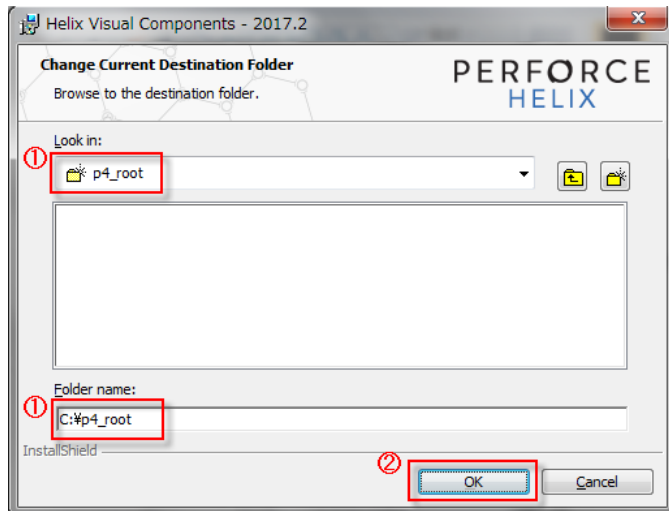
- ① P4PORT¹をデフォルト(1666)以外にする場合、ここにポート番号を入力します。特別な理由がなければ、デフォルトの 1666 をご利用いただくことをお勧めします。

¹ Helix Core が、ユーザからの接続を待つ (listen する) ポート番号。

- ② P4ROOT²をデフォルト(C:\Program Files\Perforce\Server\¥)以外にする場合、Change ボタンをクリックします。
Helix Coreを実運用でご利用になる場合、P4ROOTはデフォルト以外の場所に変更することをお勧めします。

2.3 Change Current Destination Folder 画面

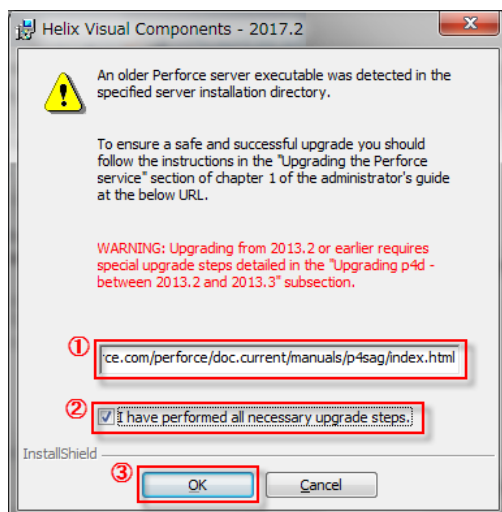
Change ボタンをクリックすると、Change Current Destination Folder 画面が表示されます。



- ① P4ROOTを指定、または入力します。よく利用されるP4ROOTは、「C:\¥p4_root」「C:\¥p1666」等です。
OK ボタンをクリックします。

指定した P4ROOT に、バージョン 2013.2 以前の Perforce サーバがインストールされている場合、ここで次の警告ダイアログが表示されます。

このケースに該当する場合、Helix Core (Perforce サーバ) をアップグレードするには、特別な手順が必要です。必ず、「Helix サーバ管理者ガイド」の「p4d をリリース 2013.2 から 2013.3 へアップグレードする」をお読みください。

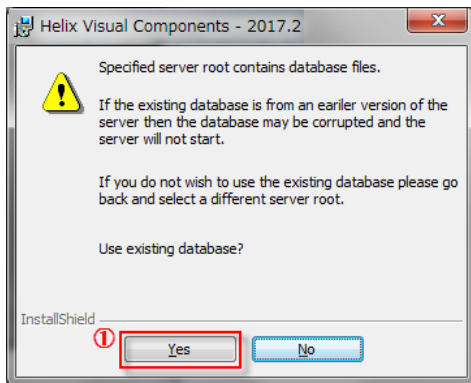


- ① 日本語マニュアルの URL は次のとおりです。
<http://www.toyo.co.jp/ss/perforce/manuals/p4sag/index.html>
② 「p4d をリリース 2013.2 から 2013.3 へアップグレードする」に記載されている①～⑤の手順を実施したら、このチェックボックスをチェックします。

² Helix Core のデータベースやディボを配置するルートディレクトリ。

③ OK ボタンをクリックします。

また、指定した P4ROOT に、既に Helix データベースが存在していると、次の警告ダイアログが表示されます。今回インストールする Helix Core を利用して、その既存のデータベースを運用するのか、それともその既存のデータベースとは別に新規のデータベースを作成するのかをここで指定します。

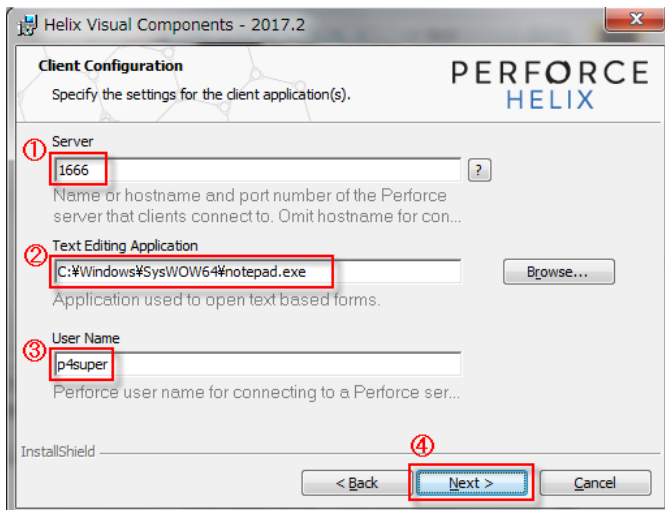


- ① Change Current Destination Folder 画面で指定したとおり、既存のデータベースを運用するのであれば、Yes ボタンをクリックします。そうではなく、新規のデータベースを作成するのであれば、No ボタンをクリックした後、Change Current Destination Folder 画面に戻って P4ROOT を指定し直します。

注意: ここで Yes ボタンをクリックした場合、インストール終了後、「Helix サーバ管理者ガイド」の「p4d をリリース 2013.2 から 2013.3 へアップグレードする」に記載されている⑦～⑩の操作を実施しなければなりません。

2.4 Client Configuration 画面

Client Configuration 画面が表示されます。



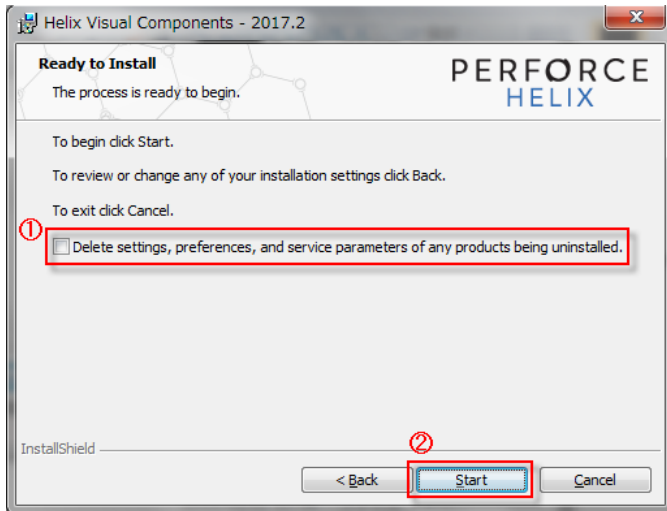
- ① 2.2①で指定したポート番号を入力します。
 ② Perforce の仕様オブジェクト³を編集するためのテキストエディタを指定します。デフォルトのまま Windows のメモ帳を利用することをお勧めします。
 ③ サーバマシン上で Helix Core に接続する際の Helix ユーザアカウント名を入力します。通常は、この Helix Core において、super 権限を持つユーザ名とします。

³ ワークスペース仕様、チェンジリスト仕様、ユーザ仕様など、Perforce のデータベースで管理される構成管理情報の一種。

- ④ Next ボタンをクリックします。

2.5 Ready to Install 画面

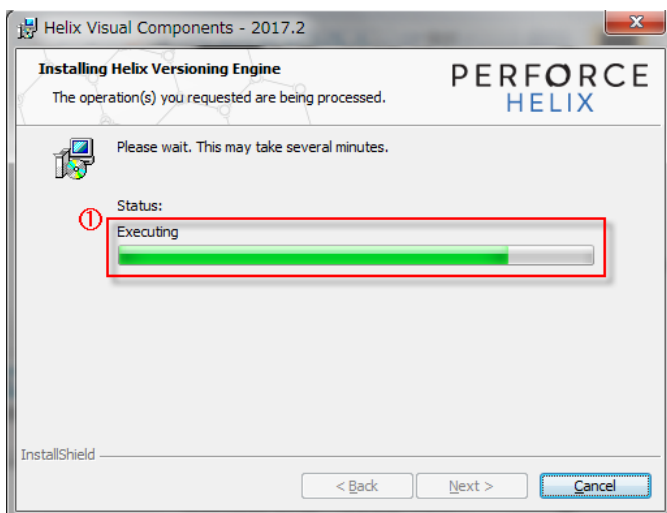
Ready to Install 画面が表示されます。



- ① 今回のインストーラの実行によっていずれかの製品をアンインストールする場合、設定やプリファレンスの情報、サービスのパラメータ等を削除するならば、このチェックボックスをオンにします。
- ② インストールを開始するならば、**Start** ボタンをクリックします。
これまでに設定した情報を確認するには、**Back** ボタンをクリックします。
インストールをキャンセルするならば、**Cancel** ボタンをクリックします。

2.6 Installing Helix Versioning Engine 画面

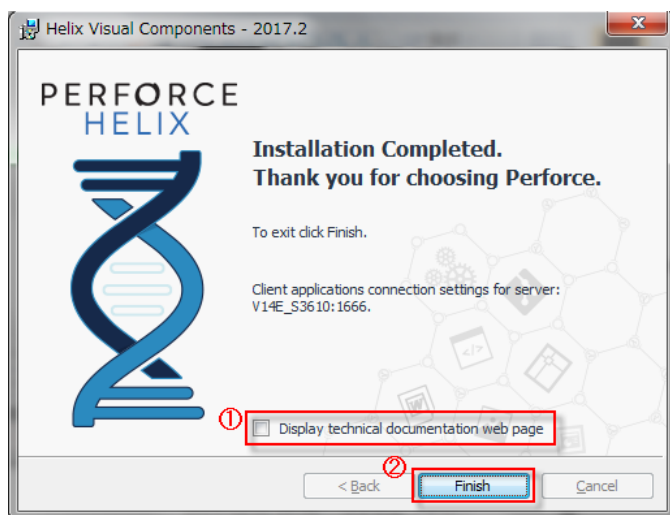
Installing Helix Versioning Engine 画面が表示されます。



- ① **Status** バーがインストールの進行状況を示します。バーが最後まで進むのを待ちます。

2.7 Installation Completed 画面

Installation Completed 画面が表示されます。



- ① テクニカルドキュメントの Web ページを参照する場合、このチェックボックスをオンにします。
- ② Finish ボタンをクリックし、インストールを完了します。

2.8 Unicode モードの設定

Helix Core のメタデータ(変更のコメント、ファイルパス、ラベル名等)に日本語を用いる場合、Helix Core を Unicode モードで起動する必要があります。コマンドプロンプトを起動し、次のコマンドを実行してください。Windows サービスの停止および開始を実行するため、管理者権限で実行する必要があります。

なお、既に Helix Core 環境(Perforce サーバ環境)を運用しているお客様は、ここでの操作は不要です。

(P4ROOT が C:\p4_root である場合の、実行例を示します。)

```
net stop Perforce
del C:\p4_root\*.db.* ← 今回が新規インストールである場合のみ
p4d -r C:\p4_root -xi
net start Perforce
```

2.9 お問い合わせ

インストールにおいて何らかの問題が発生した場合は、ご遠慮なく弊社テクニカルサポート (ss_support@toyo.co.jp) にお問い合わせください。その際、次の情報をお送りいただければ幸いです。

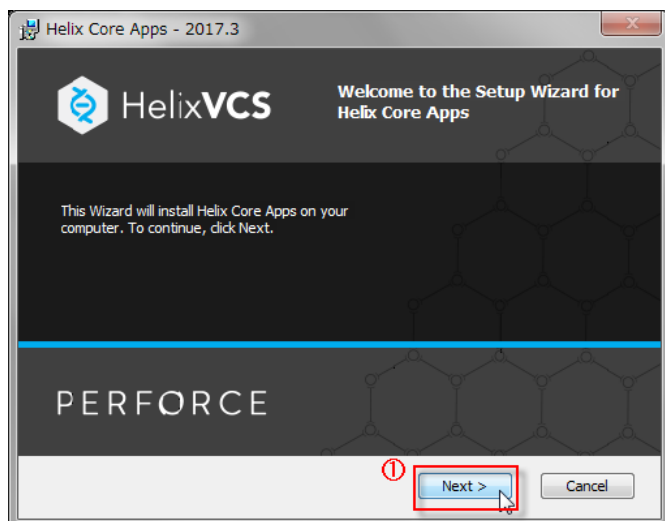
- 発生した問題の内容(できるだけ具体的に)
- OS のバージョン
- Helix Core のバージョン
- インストーラのログファイル
%TEMP%\PerforceMSI.log です。例えばユーザ名が bruno ならば、デフォルトでは C:\Users\bruno\AppData\Local\Temp\PerforceMSI.log となります。

3. Helix GUI クライアントのインストーラ実行手順

3.1 インストーラの実行

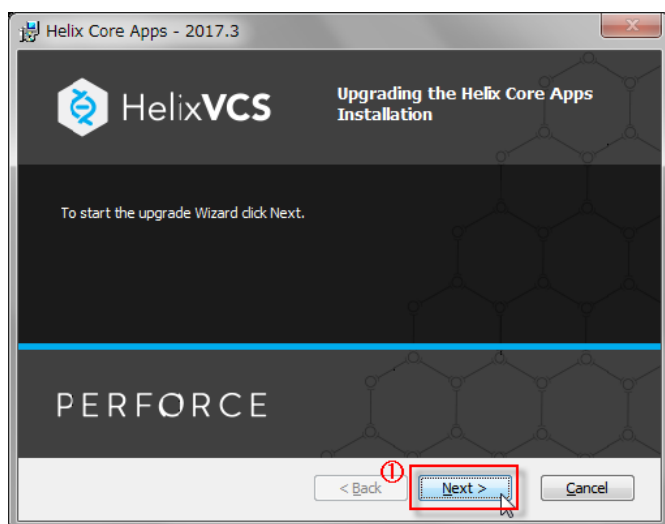
インストーラ p4vinst64.exe (32bit Windows の場合は p4vinst.exe) を実行すると、次のとおり開始画面が表示されます。

初回インストールの場合:



① Next ボタンをクリックします。

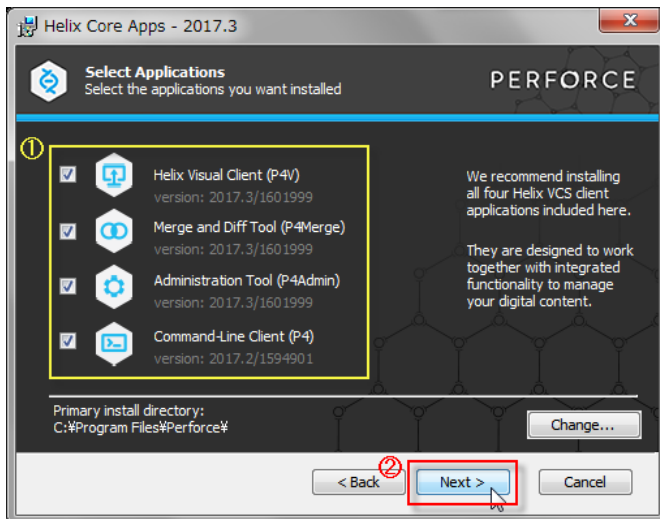
アップグレードの場合:



① Next ボタンをクリックします。

3.2 Select Applications 画面

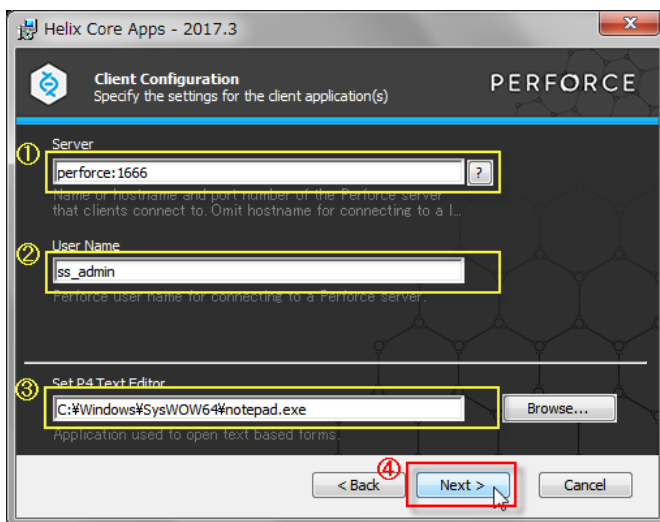
Select Applications 画面が表示されます。



- ① インストールする機能を選択します。
- ② Next ボタンをクリックします。

3.3 Client Configuration 画面

Client Configuration 画面が表示されます。

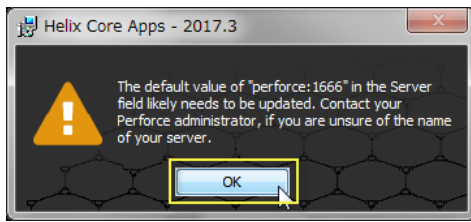


- ① 接続する Helix Core のサーバポート番号⁴を入力します。
- ② 自分の Helix ユーザアカウント名を入力します。
- ③ Perforce の仕様オブジェクト⁵を編集するためのテキストエディタを指定します。デフォルトのまま Windows のメモ帳を利用することをお勧めします。
- ④ Next ボタンをクリックします。

ここで、①に「perforce:1666」と指定していると、次のダイアログが表示されます。これは GUI クライアントが示しているデフォルトのホスト名およびポート番号ですので、適切な値に変更する必要があるであろうことを警告しています。

⁴ 「サーバのホスト名:ポート番号」の形式で入力します。例えば、p4server:1666 のようにします。

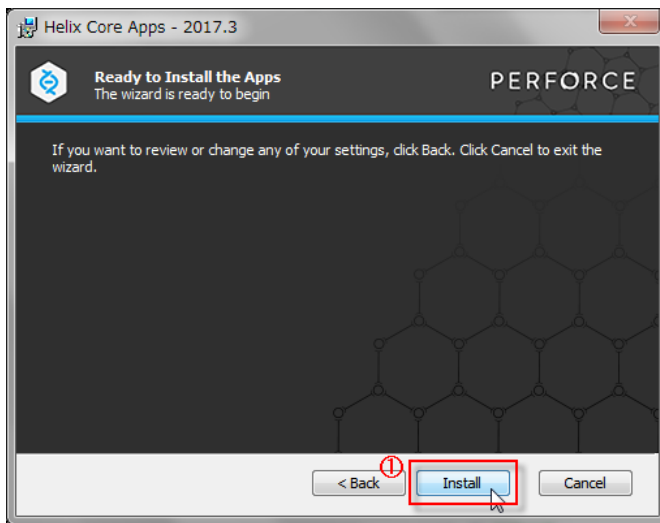
⁵ ワークスペース仕様、チェンジリスト仕様、ユーザ仕様など、Perforce のデータベースで管理される構成管理情報。



ここでは単に OK ボタンをクリックし、必要に応じて 3.3 で指定した値を設定し直します。

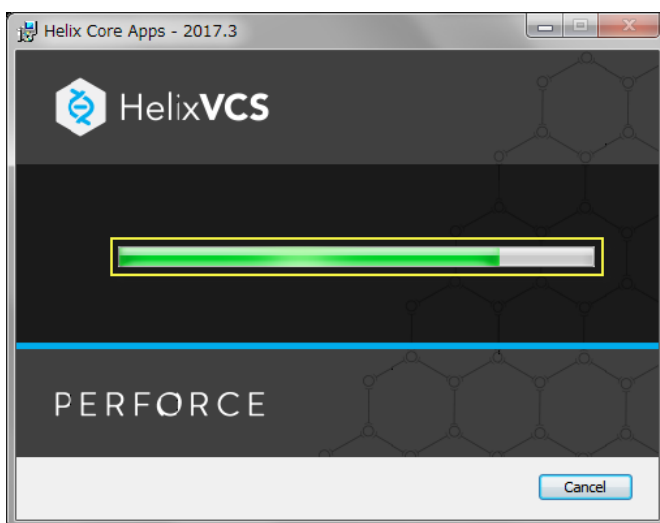
3.4 Ready to Install the Apps 画面

Ready to Install the Apps 画面が表示されます。



- ① インストールを開始するならば、Install ボタンをクリックします。
これまでに設定した情報を確認するには、Back ボタンをクリックします。
インストールをキャンセルするならば、Cancel ボタンをクリックします。

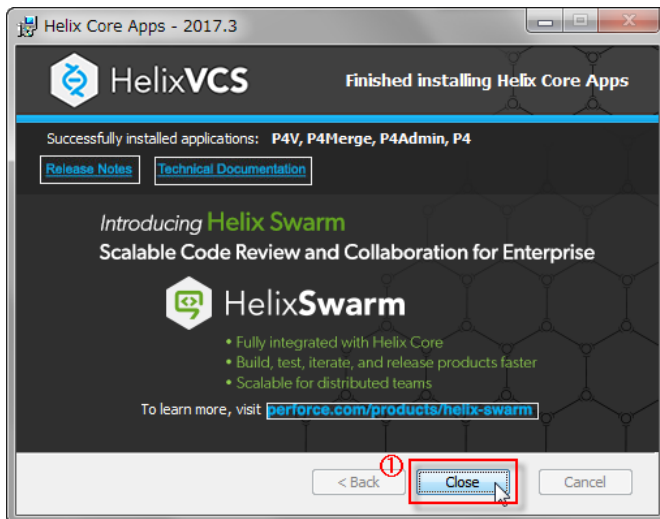
Installing Perforce Visual Components 画面が表示されます。



Status バーがインストールの進行状況を示します。バーが最後まで進むのを待ちます。

3.5 Finished installing Helix Core Apps 画面

Finished installing Helix Core Apps 画面が表示されます。



② Close ボタンをクリックし、インストールを完了します。

3.6 GUI の日本語化

インストールした Helix GUI クライアントを日本語表示にするためには、「Perforce Helix GUI クライアント 2017.3 インストールおよび日本語パック適用の手引き⁶」をご参照ください。

3.7 お問い合わせ

インストールにおいて何らかの問題が発生した場合は、ご遠慮なく弊社テクニカルサポート (ss_support@toyo.co.jp) にお問い合わせください。その際、次の情報をお送りいただければ幸いです。

- 発生した問題の内容(できるだけ具体的に)
- OS のバージョン
- Helix GUI クライアントのバージョン
- インストーラのログファイル

%TEMP%\PerforceMSI.log です。例えばユーザ名が bruno ならば、デフォルトでは C:\Users\bruno\AppData\Local\Temp\PerforceMSI.log となります。

以上

⁶ http://www.toyo.co.jp/files/user/img/product/ss/files/perforce/ja_pack/japack_readme.pdf